

令和3年2月17日

イラン・イスラム共和国に対する無償資金協力に関する署名式の開催

2月17日、在イラン日本国大使館において、無償資金協力2件（「オルミエ湖その他湿原における環境管理及び持続可能な生計促進計画（UNDP 連携）」及び「チャーバハールにおける包括的で持続可能なキハダマグロ・バリューチェーン構築推進計画（UNIDO 連携）」、合計6億7,600万円）の署名式を開催しました。

署名式では、相川一俊駐イラン日本国特命全権大使、クラウディオ・プロヴィダス国際連合開発計画イラン事務所代表（Mr. Claudio Providas, UNDP Resident Representative in the Islamic Republic of Iran）、アフマドレザ・ラヒジャンザデ・イラン環境庁次官（海洋環境・湿原担当）（Dr. Ahmadreza Lahijanzadeh, Deputy of Marine Environment and Wetlands, Department of Environment）、マリヤム・ジャバンシャハラキ国際連合工業開発機関イラン事務所代表（Ms. Maryam Javan Shahraki, UNIDO Country Representative, Country Office in the Islamic Republic of Iran）、ナビオッラ・フンミルザイ・イラン漁業機構長（Dr. Nabiollah Khunmirzaei, Deputy Minister and Head of Iran Fisheries Organization）がスピーチを行った後、相川大使とプロヴィダス代表及びジャバンシャハラキ代表との間で交換公文の署名が行われました。

対象案件の概要は以下のとおりです。

1 無償資金協力「オルミエ湖その他湿原における環境管理及び持続可能な生計促進計画（UNDP 連携）」【供与限度額3億1,300万円】

本計画は、イランのオルミエ湖及びその他2湿原において、水資源に依存しない生計手段の導入・創出を支援し、地域コミュニティによる湿地管理を促進することで、無秩序な農村開発による水資源の消費抑制及び流域住民の生活向上を図り、もってイランの持続可能な開発に寄与するものです。

2 無償資金協力「チャーバハールにおける包括的で持続可能なキハダマグロ・バリューチェーン構築推進計画（UNIDO 連携）」【供与限度額3億6,300万円】

本計画は、チャーバハールにおいて、イラン政府による水産資源の管理体制構築を支援し持続可能な水産業を整備するとともに、水産業の付加価値向上による地域経済の発展を図り、もってイランの経済・社会基盤の強化に寄与するものです。

